

特殊機能性防水材 PAT.3176831
NETIS 登録 No.KK-080016-V

パテックス

大関化学工業株式会社



PARATEX

水の星の 明日を見つめて



本社・関西支店 ISO14001 認証取得

環境を守り、信頼に応える



パラテックスは、耐水性、接着性、耐候性、耐薬品性など、総合的耐久性に優れた強靱な防水材です。

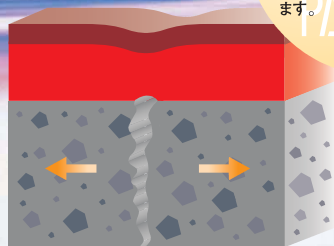
独自の止水メカニズムで万一の亀裂にも対応し、建造物の寿命を確実に延ばします。また、水性エマルジョンと無機粉体を原料としているため、大気中に有機溶剤が放出されず、施工時における中毒や火気による爆発等の心配がまったくありません。水槽類をはじめ、地下構造物などにご使用いただいても、水質汚染の心配もありません。施工者の安全が守られ、また、住宅の改修工事などにも安心してご使用いただけます。

優れた耐久性を持ち、環境に配慮した塗膜防水材、それがパラテックス。私たちはこれからも環境に調和した製品を創り続けていきます。

CONTENTS

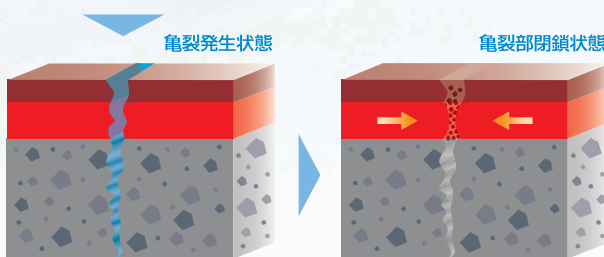
パラテックスの特長	3-4
施工箇所	5-7
信頼の実績	8-10
パラテックスの基本材料	11
技術資料	12
防水工法【A仕様】	13-14
防水工法【B仕様】	15-16
防水工法【C仕様】	17-18
防水工法【C-VR仕様】	19-20
防水工法【Q仕様】【D仕様】	21
防食工法【EP-ライニング仕様】【エポキシ防食仕様】	22
製品一覧	23-26
下地処理・特殊納まり標準施工図	27-28
標準工法の配合	29
製品別標準塗面面積	30
注意事項	31-32

次世代をリードする優れた特長。



万一の亀裂を閉鎖する「自閉樹脂塗膜防水」。

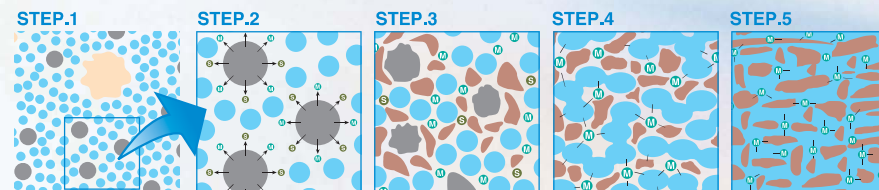
優れた追従性でコンクリートの亀裂に対応するパラテックス。万一コンクリートとともに破断してしまった場合でもパラテックス独自の自閉作用が働いて水の浸入を防ぎます。



コンクリートのクラックの大きさ、性状によっては、追従限界をこえて破断するケースもあります。その場合でも、防水層破断部が水分を吸収して体積膨張し、更に特殊添加成分が亀裂破断面間の相互作用を促進し、化合物を形成することで自閉します。

※自閉作用は現場状況により異なります。

パラテックス防水の造膜メカニズム



パラテックス原液とパラテックス混和材を配合することにより、エマルジョン水分中にEVA樹脂とアルミナ系セラミックスおよび骨材が均一に分散された状態となります。

骨材 EVA樹脂 アルミナ系セラミックス 金属イオン 水和成分 無機水和物

※溶媒は水

街のさまざまな箇所で活躍しています。



屋上



ベランダ



トイレ



プール

防水における優れた特性を持ち、用途に合わせた材料と工法が各種揃ったパラテックス。私たちの街のあらゆる所で使用されています。



配水池



観音池



スタジアム・スタンド



トンネル

この実績が新たな信頼につながります。

信頼
の実績

- MM21地区（特別II）
各種水構、室内、フリーアクセスフロア、他
B-2 B-4 A-1 Q工法
設計 世界文化社
- アーケヒルズ（東京）
地下外壁、ピット
A-1 B-2工法
- 関西国際空港
共売場、他
B-1工法+発泡ポリスチレンボード
設計 関西国際空港（株）



新千歳空港旅客ターミナルビル 床下ピット、他 B-1 A-1 工法 設計 世界文化社



青森県立武道館 地下外壁、相隣地床 B-2 C-1 工法



南地区市民活動センター（埼玉） 屋根、ピット C-1（モザイクタイル貼り）B-2工法



レインボープール（愛知） プール内、ピット、外部アプローチ A-1 B-1 工法



大倉山ジャンプ競技場（北海道） 水構、地下外壁 B-2工法



飯山町市街地再開発（福島） 床、前壁、外溝 C-1 B-1 工法 設計 S&A社



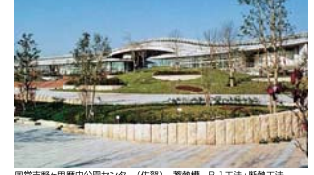
山王パークタワー（東京） 地下ピット、室内床、他 B-2 B-3 B-6 Q A-2工法 設計 豊田建設



JFセントラルタワー（愛知） 消火水構、ポンプ室 B-2工法 南シティ・パールセントラルビル（株）



豊根県立中央病院 バルコニー、外壁、ヘリポート、ピット、機庫室 設計 S&A社 A-2 A-1 B-2 Q工法



国営吉野ヶ里歴史公園センター（佐賀） 蓄熱槽 B-1 工法+断熱工法



大阪市中央体育館 屋根、床、トイレ、他 A-1 B-1 C-1 Q工法 設計 北村秀司



神戸市営地下鉄海岸線 コンコース床、トイレ、制溝 C-1 C-2工法



大塚国際美術館（徳島） 消火水構、中水処理槽、浄化槽 B-2工法 設計 豊田建設



ホークスタウン（福岡） 水構、地下外壁、外部階段 B-1 C-1 工法 設計（株）博野一也

信頼
の実績

高品質が実証されています。

パラテックスはF☆☆☆☆製品です。

基本材料



パラテックス原液

耐水性、耐アルカリ性に優れた特殊変性のエチレン酢酸ビニル系共重合樹脂エマルジョンであり、各種防水工法の基本材料です。

外 観	白色乳濁液
主 成 分	変性エチレン酢酸ビニル共重合樹脂
固 形 分	53±2%
粘 度	18,000±5,000mPa・s (30℃)
pH	6.0±1
電 荷	ノニオン
機械安定性	良好
乾燥フィルム	微濁半透明
荷姿・容量	石油缶 18kg

パラテックスA混和材

パラテックス原液に混和して使用する各種防水工法の基本材料です。

外 観	茶褐色粉体
主 成 分	アルミナ系セラミックスおよび 遷移金属配合特殊調合骨材
荷姿・容量	クラフト袋 12kg

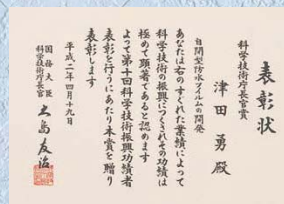
パラテックスB混和材

パラテックス原液に混和して使用する各種防水工法の基本材料です。

外 観	茶褐色粉体
主 成 分	アルミナ系セラミックスおよび 遷移金属配合特殊調合骨材
荷姿・容量	クラフト袋 15kg



大関化学の製品は、徹底した品質管理がなされています



科学技術庁長官賞受賞

高品質を保証する、さまざまな性能試験

塗膜物性

防水材種別	引張強さ N/mm ²	引裂強さ N/mm	伸び率 %
A-1	0.70	7.20	290
B-1	1.35	9.60	45

<試験方法>

JIS A 6021 建築用塗膜防水材試験法に準ずる。
養生は23±2℃・50±5%RHで4週間行った。



耐薬品性

浸漬溶液	状 態
飽和セメント水	異状なし
水酸化ナトリウム2%水溶液	異状なし
塩酸0.01%水溶液	異状なし
塩化カルシウム20%水溶液	異状なし
次亜塩素酸ナトリウム(20ppm)	異状なし
海水	異状なし
機械油	異状なし

<試験方法>

試験体はいずれもスレート板上へB-1工法を施工後、各溶液に6ヶ月間浸漬し、塗膜の膨れ、割れ、剥がれ、穴等の異常の有無を観察した。

耐衝撃性

防水材種別	条件	落下高さ	
		50cm	100cm
A-1	28日養生	いずれも割れおよび剥がれは認められなかった。	
B-1	養生	剥がれは認められなかった。	

<試験方法>

JIS A 6916に準拠し、1kgの鋼鉄球を50cmおよび100cmの高さから試験体表面に鉛直に落下させ、防水層の割れおよび剥がれの有無を調べた。

接着性

下地の種類	条 件	接着強さ N/mm ²
コンクリート (標準歩道板)	28日養生	2.15
湿潤コンクリート	28日養生	1.60
モルタル	28日養生	2.20
上塗りモルタル (樹脂混入モルタル)	28日養生 (モルタル打設より26日養生)	1.10

<試験方法>

試験の防水塗膜はいずれもB-1工法による。
試験は4×4cmの角型鋼製治具をセットし、垂直方向に引っ張った。

加圧透水性

防水材種別	目視による透水の有無
A-1	透水なし
B-1	透水なし
無処理	加圧5分で透水し、漏水

<試験方法>

JIS A 1404に準拠し、491kPaの圧力で1時間の水压を与えた時の透水の有無を観察した。

当データはある条件下で測定したものであり、いかなる条件下でも再現される保証値ではありません。予めご了承下さい。

パラテックス防水工法

【A仕様】

防水工法
【A仕様】

仕 様 (○内数字は工程順) (kg/m²)

A-1 工法

①パラテックスプライマー液 0.1
②パラテックスA材 1.67
(別途保護層が必要です。)*1

A-1-2 工法 (軽歩行用)

①パラテックスプライマー液 0.1
②パラテックスA材 1.67
③カラーコート材 (1回目) 0.7~0.735*2
④カラーコート材 (2回目) 0.5~0.525*2

A-1-3 工法 (歩行用)

①パラテックスプライマー液 0.1
②パラテックスA材 1.67
③カラーコートS材 (1回目) 0.7~0.735*2
④カラーコートS材 (2回目) 0.5~0.525*2

施工箇所	保護層	適用工法
トイレ・浴室 厨房・サッシ廻り	モルタル・タイル等 (別途工事)	A-1
ベランダ バルコニー 開放廊下 外階段 小庇	モルタル・タイル等 (別途工事)	A-1
	カラーコート (軽歩行用ノンスリップ仕上げ)	A-2
	カラーコートS (歩行用ノンスリップ仕上げ)	A-3
	トップコートAU (軽歩行用なめらか仕上げ)	A-4
	トップコートV (軽歩行光沢滑らか仕上げ)	A-5
	ヒートバリアトップ (遮熱軽歩行光沢滑らか仕上げ)	A-6

仕 様 (○内数字は工程順) (kg/m²)

A-4 工法 (軽歩行用)

①パラテックスプライマー液 0.1
②パラテックスA材 1.67
③カラーコート材 0.7~0.735*2
④トップコートAU材 0.25

A-5 工法 (軽歩行用)

①パラテックスプライマー液 0.1
②パラテックスA材 1.67
③トップコートV材 (1回目) 0.15
④トップコートV材 (2回目) 0.15

A-6 工法 (遮熱軽歩行用)

①パラテックスプライマー液 0.1
②パラテックスA材 1.67
③ヒートバリアトップ材 (1回目) 0.15
④ヒートバリアトップ材 (2回目) 0.15

施工箇所	保護層	適用工法
防水補強塗り (木コン、打継ぎ、 クラック等)	_____	A-1

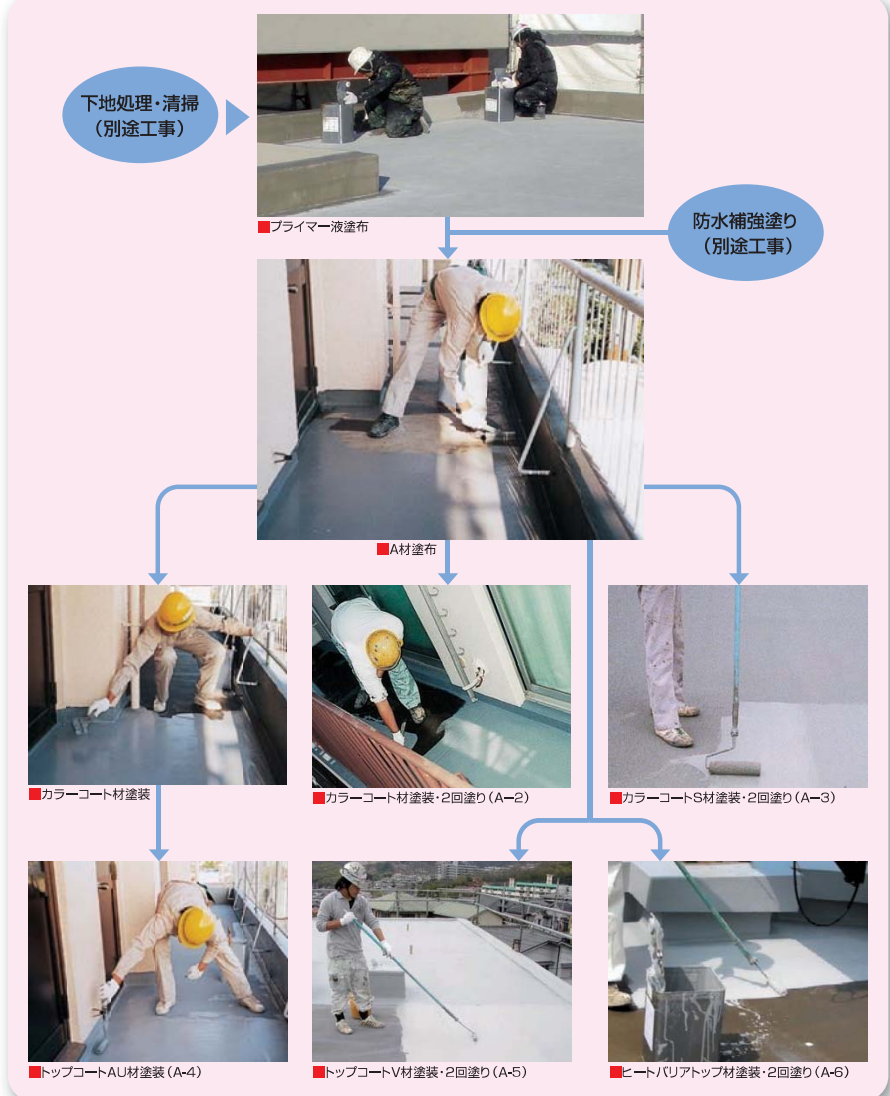
防水下地についてのお願い——

- パラテックス防水工法の下地は、コンクリート金鍍仕上げ程度をお願いします。
- 入り隅は通りよく直角、出隅は通りよく面取りとしてください。
- RC造以外の下地 (ALC等) についてはご相談ください。
- その他、31・32ページ (注意事項) をご覧ください。

*1 配管・トレンチビット、2重壁内等は保護層量が省略できます。
*2 カラーコート、カラーコートS材は、5%以内の水で希釈して塗布。
1回目0.7kg/m²・2回目0.5kg/m²

施工手順

パラテックス A仕様



防水工法
【A仕様】

パラテックス防水工法

NETIS登録 No.KK-080016-V

パラテックスは地下構造物への防水工法として
NETISに登録されています。

【B仕様】

仕 様 (○内数字は工程順) (kg/m²)

B-1工法

①パラテックスプライマー液 0.1
②パラテックスB材 3.2
(別途保護層が必要です。) ※1

B-2工法

①パラテックスプライマー液 0.1
②パラテックスB材 3.2
③パラコート材 1.83~1.875

B-3工法

①パラテックスプライマー液 0.1
②パラテックスB材 3.2
③パラコートEX材 1.5以上

仕 様 (○内数字は工程順) (kg/m²)

日本下水道事業団「防食技術マニュアル」対応

B-4A工法

①パラテックスプライマー液 0.1
②パラテックスB材 3.2
③パラコートEM材 1.0
④パラテックスEP-GSS材 0.2
⑤パラテックスEP-GSS材 0.2
※EP-GSS材 0.2×3回塗りが必要

厚生労働省令水道施設基準適合

B-5工法

①パラテックスプライマー液 0.1
②パラテックスB材 3.2
③パラコートEX材 1.5以上
④パラテックスEP-800材 0.2
⑤パラテックスEP-800材 0.2
※EP-800材...ビスフェノールF型エポキシ樹脂

日本下水道事業団「防食技術マニュアル」対応

B-6D工法

①パラテックスプライマー液 0.1
②パラテックスB材 3.2
③パラコートEM材 1.0
④パラテックスEP-プライマーX液 0.15
⑤パラテックスEP-GSX材 0.3
⑥パラテックスEP-GSX材 0.3
⑦パラテックスEP-GSX材 0.3
⑧パラテックスEP-GSX材 0.3
※EP-GSX材...0.3×3回塗りが必要

施工手順

パラテックス B仕様



※1 配管・レンデビット、2重壁内等は保護層が省略できます。

パラテックス防水工法

【C仕様】

仕 様 (○内数字は工程順) (kg/m²)

C-1 工法

- ①パラテックスプライマー液 0.1
- ②パラメッシュ貼り材 0.4~0.44※2
- ③パラテックスA材 1.67

(別途保護層が必要です。)※1

C-2 工法 (軽歩行用)

- ①パラテックスプライマー液 0.1
- ②パラメッシュ貼り材 0.4~0.44※2
- ③パラテックスA材 1.67
- ④カラーコート材 (1回目) 0.7~0.735※3
- ⑤カラーコート材 (2回目) 0.5~0.525※3

C-3 工法 (歩行用)

- ①パラテックスプライマー液 0.1
- ②パラメッシュ貼り材 0.4~0.44※2
- ③パラテックスA材 1.67
- ④カラーコートS材 (1回目) 0.7~0.735※3
- ⑤カラーコートS材 (2回目) 0.5~0.525※3

施工箇所	保護層	適用工法
浴室・厨房	モルタル・タイル等(別途工事)	C-1
屋上 ルーフバルコニー 斜屋根 大庇	モルタル・コンクリート等(別途工事)	C-1
	カラーコート(軽歩行用/ノンスリップ仕上げ)	C-2
	カラーコートS(歩行用/ノンスリップ仕上げ)	C-3
	トップコートAU(軽歩行用なめらか仕上げ)	C-4

仕 様 (○内数字は工程順) (kg/m²)

C-4 工法 (軽歩行用)

- ①パラテックスプライマー液 0.1
- ②パラメッシュ貼り材 0.4~0.44※2
- ③パラテックスA材 1.67
- ④カラーコート材 0.7~0.735※3
- ⑤トップコートAU材 0.25

C-5 工法 (軽歩行用)

- ①パラテックスプライマー液 0.1
- ②パラメッシュ貼り材 0.4~0.44※2
- ③パラテックスA材 1.67
- ④トップコートV材 (1回目) 0.15
- ⑤トップコートV材 (2回目) 0.15

C-6 工法 (遮熱軽歩行用)

- ①パラテックスプライマー液 0.1
- ②パラメッシュ貼り材 0.4~0.44※2
- ③パラテックスA材 1.67
- ④ヒートバリアトップ材 (1回目) 0.15
- ⑤ヒートバリアトップ材 (2回目) 0.15

施工箇所	保護層	適用工法
屋上・ルーフバルコニー・斜屋根・大庇	トップコートV(軽歩行光沢滑らか仕上げ)	C-5
	ヒートバリアトップ(遮熱軽歩行光沢滑らか仕上げ)	C-6

※1 配管・トレンチ・ピット、2重壁内等は保護層が省略できます。
 ※2 パラメッシュ貼り材は「パラテックス原液希釈液(水10%以内)」で貼り付け。
 原液0.4kg/m²
 ※3 カラーコート、カラーコートS材は、5%以内の水で希釈して塗布。1回目0.7kg/m²・2回目0.5kg/m²

施工手順

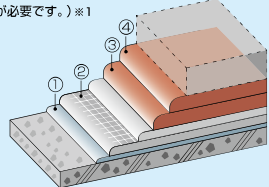
パラテックス C仕様



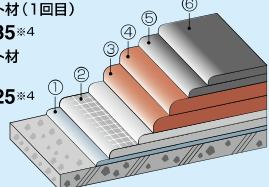
パラテックス防水工法

【C-VR仕様】

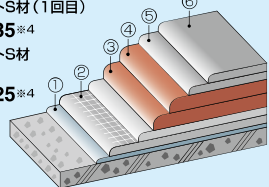
仕 様 (○内数字は工程順) (kg/m ²)	
①パラテックスプライマー液	0.1
②VRメッシュ貼り材	0.77※2
③パラテックスQ ₁ 材 (下塗り)	0.84~0.9※3
④パラテックスQ ₁ 材 (上塗り)	0.84~0.88※3 (別途保護層が必要です。)*1



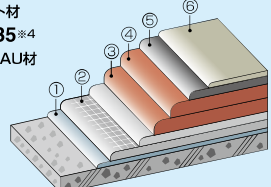
仕 様 (○内数字は工程順) (kg/m ²)	
①パラテックスプライマー液	0.1
②VRメッシュ貼り材	0.77※2
③パラテックスQ ₁ 材 (下塗り)	0.84~0.9※3
④パラテックスQ ₁ 材 (上塗り)	0.84~0.88※3
⑤カラーコート材 (1回目)	0.7~0.735※4
⑥カラーコート材 (2回目)	0.5~0.525※4



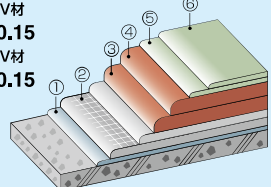
仕 様 (○内数字は工程順) (kg/m ²)	
①パラテックスプライマー液	0.1
②VRメッシュ貼り材	0.77※2
③パラテックスQ ₁ 材 (下塗り)	0.84~0.9※3
④パラテックスQ ₁ 材 (上塗り)	0.84~0.88※3
⑤カラーコートS材 (1回目)	0.7~0.735※4
⑥カラーコートS材 (2回目)	0.5~0.525※4



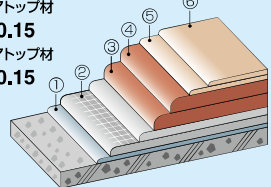
仕 様 (○内数字は工程順) (kg/m ²)	
①パラテックスプライマー液	0.1
②VRメッシュ貼り材	0.77※2
③パラテックスQ ₁ 材 (下塗り)	0.84~0.9※3
④パラテックスQ ₁ 材 (上塗り)	0.84~0.88※3
⑤カラーコート材	0.7~0.735※4
⑥トップコートAU材	0.25



仕 様 (○内数字は工程順) (kg/m ²)	
①パラテックスプライマー液	0.1
②VRメッシュ貼り材	0.77※2
③パラテックスQ ₁ 材 (下塗り)	0.84~0.9※3
④パラテックスQ ₁ 材 (上塗り)	0.84~0.88※3
⑤トップコートV材 (1回目)	0.15
⑥トップコートV材 (2回目)	0.15



仕 様 (○内数字は工程順) (kg/m ²)	
①パラテックスプライマー液	0.1
②VRメッシュ貼り材	0.77※2
③パラテックスQ ₁ 材 (下塗り)	0.84~0.9※3
④パラテックスQ ₁ 材 (上塗り)	0.84~0.88※3
⑤ヒートバリアトップ材 (1回目)	0.15
⑥ヒートバリアトップ材 (2回目)	0.15



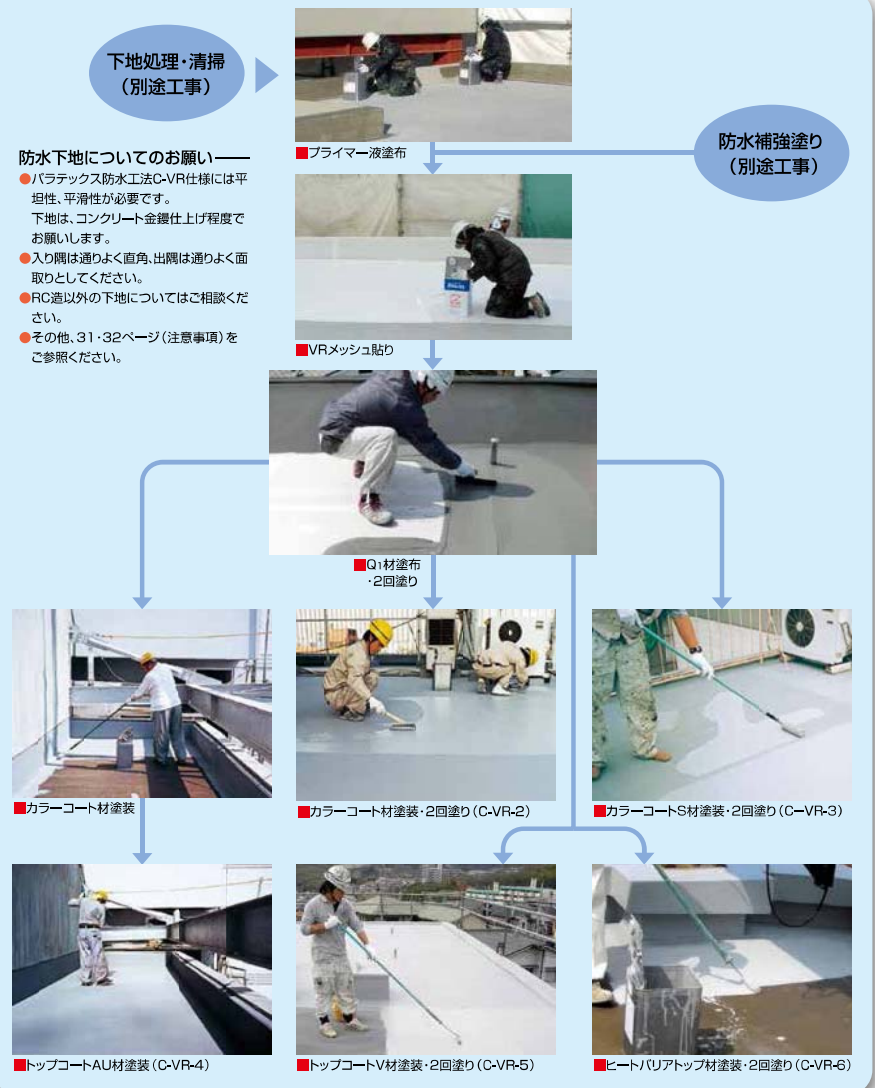
施工箇所	保護層	適用工法
浴室・厨房	モルタル・タイル等 (別途工事)	C-VR-1
屋上 ルーフバルコニー 斜屋根 大庇	モルタル・コンクリート等 (別途工事)	C-VR-1
	カラーコート (軽歩行用/ノンスリップ仕上げ)	C-VR-2
	カラーコートS (歩行用/ノンスリップ仕上げ)	C-VR-3
	トップコートAU (軽歩行用なめらか仕上げ)	C-VR-4

施工箇所	保護層	適用工法
屋上・ルーフバルコニー・斜屋根・大庇	トップコートV (軽歩行光沢滑らか仕上げ)	C-VR-5
	ヒートバリアトップ (遮熱軽歩行光沢滑らか仕上げ)	C-VR-6

※1 配管・トレンチ・ピット、2重壁内等は保護層が省略できます。
 ※2 VRメッシュ貼り材はパラテックス原液希釈液 (水10%) で貼り付け。
 原液Q.77kg/m²
 ※3 パラテックスQ₁材の1回目平場は7%の水で希釈して塗布。立上り、及び平場2回目は0~5%の水で希釈して塗布。
 ※4 カラーコート、カラーコートS材は、5%以内の水で希釈して塗布。1回目Q.7kg/m²・2回目Q.5kg/m²

施工手順

パラテックス C-VR仕様

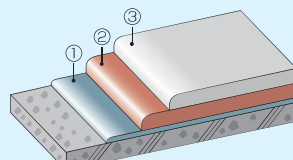


パラテックス防水工法

パラテックス防食工法

【Q仕様】

仕 様 (○内数字は工程順) (kg/m ²)	
①プライマーAP液	0.1
②パラテックスQ ₁ 材	1.27
③パラテックスQ ₂ 材	0.95



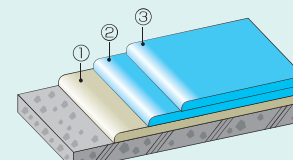
施工箇所	
フリーアクセススペースフロア	



■フリーアクセス (別途工事)

【EP-ライニング仕様】

仕 様 (○内数字は工程順) (kg/m ²)	
①パラテックスEP-バテ材	0.7
②パラテックスEP-800材	0.2
③パラテックスEP-800材	0.2



施工箇所	
飲料用コンクリート水槽	

下地についてのお願い ——

- パラテックス防食工法の下地は、コンクリート金網仕上げ程度でお願いします。
- 入り隅は通りよく直角、出隅は通りよく面取りとしてください。
- RC造以外の下地についてはご相談ください。
- その他、31・32ページ (注意事項) をご参照ください。

- 厚生労働省令水道施設基準適合
- 日本水道協会JWWA K 143 (2004) 適合

施工手順

下地処理・清掃 (別途工事)

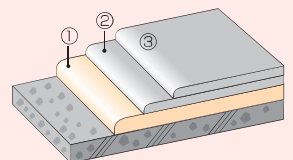


■プライマーAP液塗布 ■パラテックスQ₁材塗り ■パラテックスQ₂材塗り

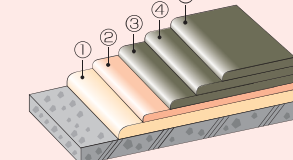
防水補強塗り (別途工事)

【エポキシ防食仕様】

仕 様 (○内数字は工程順) (kg/m ²)	
①バラコートEM材	1.0
②パラテックスEP-GSS材	0.2
③パラテックスEP-GSS材	0.2



仕 様 (○内数字は工程順) (kg/m ²)	
①バラコートEM材	1.0
②EP-プライマーX材	0.15
③EP-GSX材	0.3
④EP-GSX材	0.3
⑤EP-GSX材	0.3
⑥EP-GSX材	0.3

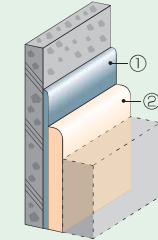


- 日本下水道事業団「下水道コンクリート構造物の腐食抑制技術及び防食技術マニュアル」適合

【D仕様】

仕 様 (○内数字は工程順) (kg/m ²)	
①パラテックスプライマー液	0.1
②パラテックスD材	0.72~0.8※1

(別途外壁化粧材が必要です。)



施工箇所	
外壁等 (地上部)	

※1パラテックスD材は10%以内の水で希釈し2~3回に分けて塗布。原液0.72kg/m²

防水下地についてのお願い ——

- パラテックス防水工法の下地は、コンクリート金網仕上げ程度でお願いします。
- 入り隅は通りよく直角、出隅は通りよく面取りとしてください。
- RC造以外の下地、についてはご相談ください。
- その他、31・32ページ (注意事項) をご参照ください。

施工箇所	
下水処理施設・汚水槽	

パラテックス製品一覧

パラテックス原液

〔防水原液〕



耐水性、耐アルカリ性に優れた特殊変性のエチレン酢酸ビニル系共重合樹脂エマルジョンであり、各種防水工法の基本材料です。

- 外 観／白色乳濁液
- 荷姿・容量／石油缶18kg

パラテックスA混和材

〔防水混和材〕



パラテックス原液とともに使用する各種防水工法の基本材料です。

- 外 観／茶褐色粉体
- 荷姿・容量／クラフト袋12kg

パラテックスB混和材

〔防水混和材〕



パラテックス原液とともに使用する各種防水工法の基本材料です。

- 外 観／茶褐色粉体
- 荷姿・容量／クラフト袋15kg

パラテックスQ₂原液

〔ベースフロア専用原液〕



フリーアクセスベースフロア専用の防水塗装材。防水性、吸湿性、防塵性、支持脚接着性に優れ、デジタルPBXやLANなどを備えたインテリジェントビルの二重床に対応。

- 外 観／白色乳濁液
- 荷姿・容量／石油缶18kg

パラテックスQ₁混和材

〔防水混和材〕



Q工法、C-VR工法に使用する防水塗装材料です。パラテックス原液に混和してQ工法の場合、下塗り用として使用します。

- 外 観／茶褐色粉体
- 荷姿・容量／PP袋20kg

パラテックスQ₂混和材

〔ベースフロア専用混和材〕



Q工法の防水塗装材料です。パラテックスQ₂原液に混和してQ工法上塗り用として使用します。

- 外 観／灰白色粉体
- 荷姿・容量／PP袋20kg

カラーコート（軽歩行用）

〔骨材入り着色仕上げ塗料〕



パラテックスと同系のEVA樹脂を利用し、微粒珪砂を配合した着色仕上げ塗装材。耐水性に優れ、屋上、ルーフィング、斜屋根等の防水層化粧保護材として使用します。

- 色 調／シルバーグレー・グレー・グリーン・ブラウン
- ※カラーコートSとは色調が異なります。
- 荷姿・容量／石油缶20kg

トップコートAU（軽歩行用）

〔着色仕上げ塗料〕



水性アクリルウレタン樹脂を主成分とし、美観に優れた着色仕上げ塗装材です。耐水性、耐汚染性、耐摩耗性に優れ、防水保護材の仕上げ材として使用します。

- 色 調／シルバーグレー・グレー・グリーン・ブラウン
- 荷姿・容量／石油缶16kg

ヒートバリアトップ

〔遮熱型着色仕上げ塗料〕



遮熱を目的に開発された環境対応型トップコート材です。

- 色 調／シルバーグレー・ホワイトグレー・アースグリーン・テラコッタ
- 荷姿・容量／主 剤・石油缶13kg
硬化剤・石油缶2kg

VRメッシュ104

〔C-VR工法用防水層補強クロス〕



パラテックスC-VR工法に使用する高強度ビニロン繊維メッシュです。

- 荷姿・容量／104cm幅×50m巻
クラフト紙包装

カラーコートS（歩行用）

〔骨材入り着色仕上げ塗料〕



アクリル樹脂を使用した微粒珪砂配合の着色仕上げ塗装材で、発色性に優み、耐久性、耐候性に優れた特性があります。出入り、歩行の頻繁なベランダ、廊下等に防汚仕上げができます。

- 色 調／シルバーグレー・グレー・グリーン・ブラウン
- ※カラーコートとは色調が異なります。
- 荷姿・容量／石油缶20kg

トップコートV

〔着色仕上げ塗料〕



水性アクリルウレタン樹脂を使用した着色仕上げ塗料で、光沢と耐候性に優れた特性があります。

- 色 調／シルバーグレー・ナチュラル・アースグリーン・テラコッタ
- 荷姿・容量／主 剤・石油缶15kg
硬化剤・2L缶1.5kg

パラメッシュ

〔防水層補強用クロス〕



合成繊維とガラス繊維を配合したクロスで、パラテックス樹脂液とのなじみが良く、C仕様における防水層の補強布として使用します。保型性が高いので、ラップ箇所のライン通りが良く、平滑で美しい仕上がりが得られます。

- 荷姿・容量／104cm幅×100m巻
クラフト紙包装
※カット加工も可

VRメッシュ20

〔C-VR工法用コーナー部 防水層補強クロス〕



パラテックスC-VR工法に使用する高強度ビニロン繊維メッシュです。入り隅、役物廻り等のコーナー部に使用します。

- 荷姿・容量／20cm幅×50m巻
×5個
クラフト紙包装

パラテックス製品一覧

パラコート

〔パラテックス防水層保護材〕



セメントと細粒骨材に保水剤等をあらかじめ配合してあり、水と混練りするだけで平滑性、耐摩耗性、耐塩素性に優れた仕上がりになる、薄塗りの防水層保護材です。

- 外 観／灰白色粉体
- 荷姿・容量／バール缶22.5kg

パラコートEX

〔水性エポキシ樹脂モルタル〕



エマルジョン型の反応性ポリマーとセメント系無機材を混合する3成分型塗工材で、耐透水性、耐薬品性に優れた、また各種下地材料へも強固に接着します。

- 外 観／主 剤(S-1)・白色エマルジョン
硬化剤(S-2)・淡黄褐色エマルジョン
骨 材(S-3)・灰白色粉体
- 荷姿・容量／主 剤(S-1)・ポリ容器5kg
硬化剤(S-2)・ポリ容器5kg
骨 材(S-3)・クラフト袋25kg

パラテックスEP-プライマー-X

〔水性エポキシ樹脂プライマー〕



水性のエポキシ樹脂で、エポキシ樹脂のプライマーとして使用します。下地との密着強度を向上させ、ピンホール防止にも役立ちます。

- 荷姿・容量／主 剤・ポリ容器4kg
硬化剤・ポリ容器4kg

パラテックスEP-GSX

〔無溶剤型変性エポキシ樹脂〕



無溶剤型の変性エポキシ樹脂で、ビルビット、排水処理施設等の貯留物に含まれる有機酸に対応した防食被覆材です。

- 色 調／灰緑色
- ※本製品は施工後に色調が黄色く変化しますが、材料特性によるものであり、防食性能に影響はありません。
- 荷姿・容量／主 剤・石油缶12kg
硬化剤・1/4石油缶3kg

パラコートEM

〔水性エポキシ樹脂モルタル〕



エポキシエマルジョンの反応性ポリマーとセメント系無機材を混合する3成分型の防水、防食工法用素地調整材です。

- 外 観／主 剤・白色エマルジョン
硬化剤・淡黄色エマルジョン
粉 体・灰白色粉体
- 荷 姿／ダンボール梱包
主 剤・ビニル容器3kg
硬化剤・ビニル容器3kg
粉 体・クラフト袋14kg

パラテックスEP-パテ

〔ビスフェノールF型エポキシ樹脂〕



無溶剤型であり、日本水道協会JWWA K143(2004)の溶出試験に適合したエポキシ樹脂です。コンクリート躯体の下塗り材として、安心してご使用いただけます。

- 荷姿・容量／主 剤・石油缶20kg
硬化剤・1/2石油缶10kg

プライマー-AP

〔Q工法用プライマー〕



樹脂粒子径が極めて小さい特殊共重合のアクリル系エマルジョンで、コンクリートへの浸透性が良く、アルカリシーリング効果も優れています。コンクリートスラブ面への防水塗膜の接着性を高めます。

- 外 観／白色乳濁液
- 荷姿・容量／石油缶16kg

パテウェイ

〔環境対応型塗膜防水材〕



粉末タイプの一材型ポリマーセメント系塗膜防水材です。水と混ぜて塗布することにより、すぐれた防水性を発揮します。

- 外 観／灰白色粉体
- 荷姿・容量／ポリ袋5kg×2
(段ボール箱入)

※詳細については、専用カタログをご参照ください。

パラテックスEP-800

〔ビスフェノールF型エポキシ樹脂〕



無溶剤型であり、日本水道協会JWWA K143(2004)の溶出試験に適合したエポキシ樹脂です。コンクリート躯体の保護と内部の水質を維持することを目的とし、飲料用コンクリート水槽などの内部塗装に利用できます。

- 色 調／ブルー
- 荷姿・容量／主 剤・石油缶16kg
硬化剤・1/3石油缶4kg

パラテックスEP-GSS

〔無溶剤型エポキシ樹脂〕



無溶剤型のエポキシ樹脂であり、貯留物の腐食性が低い廃液槽、硫化水素の滞留が少ない下水処理施設などに対応した防食被覆材です。

- 色 調／グレー
- 荷姿・容量／主 剤・石油缶15kg
硬化剤・1/4石油缶3kg

パラベースNEO

〔カチオン系下地調整材〕



パラベースNEOはカチオン系下地調整材です。少量のコンパクトパッケージでパラテックスとの接着性も良好です。

- 荷姿・容量／主 材・紙袋14kg
混和液・ポリ容器2kg

※詳細については、専用カタログをご参照ください。

とめたるう W1・S1

〔止水・補修用充填材〕

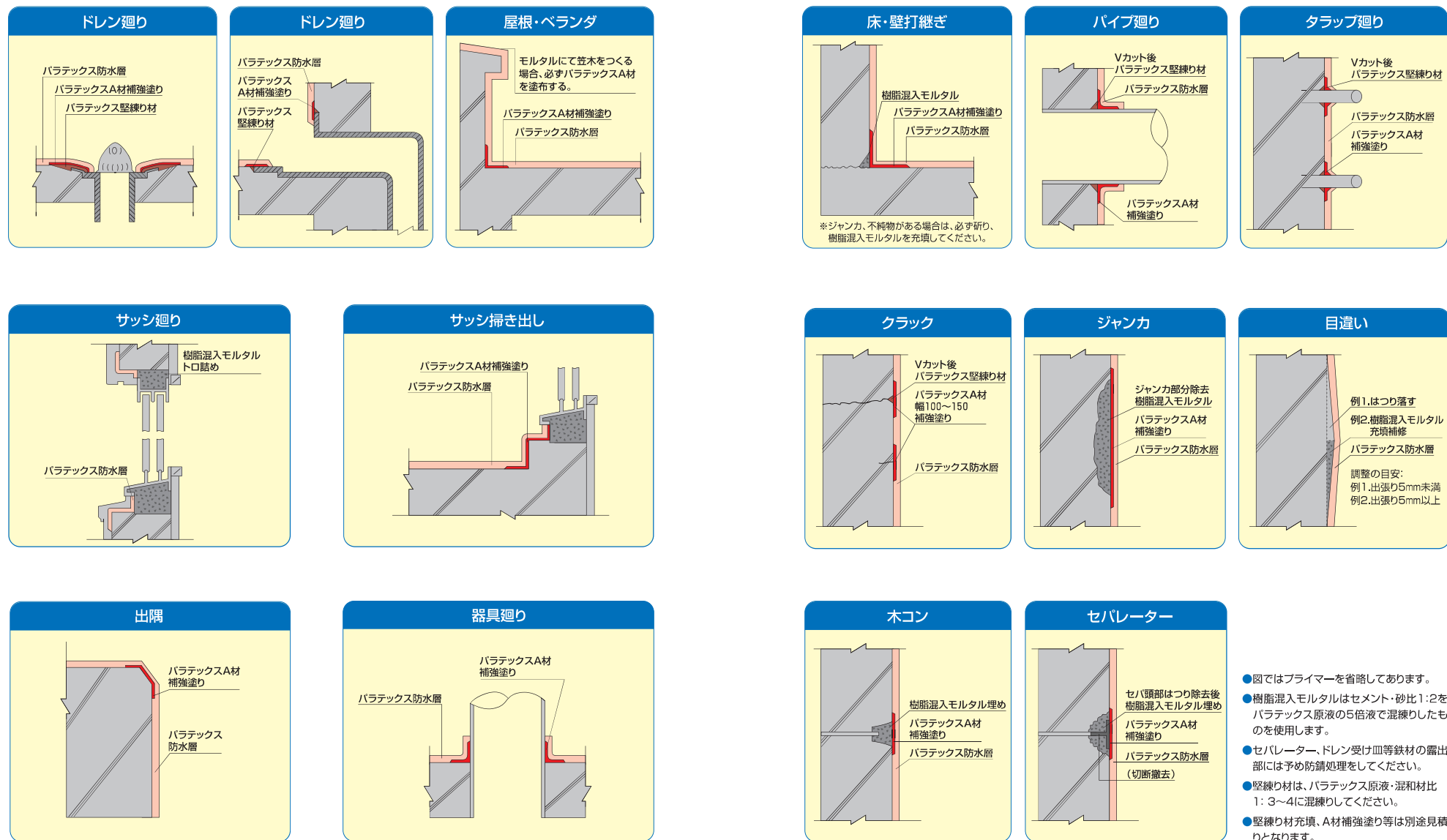


特殊な超速硬化性無機化合物を主成分とする結合材で、水を加えて練り混ぜ、硬化直前に漏水部分に強く押し当てることによって容易に止水できます。

- 硬化時間／W1:冬期1分タイプ
S1:夏期1分タイプ
- 荷姿・容量／ポリ袋5kg×2
(段ボール箱入)

※詳細については、専用カタログをご参照ください。

下地処理及び特殊納まり標準施工図



- 図ではプライマーを省略してあります。
- 樹脂混入モルタルはセメント・砂比1:2をパラテックス原液の5倍液で混練りしたものを使用します。
- セパレーター、ドレン受け皿等鉄材の露出部には予め防錆処理をしてください。
- 堅練り材は、パラテックス原液・混和材比1:3~4に混練りしてください。
- 堅練り材充填、A材補強塗り等は別途見積りとなります。

標準工法の配合

製品別標準塗工面積

	材 料	配 合 (kg/m ²)	標準塗工量 (kg/m ²)	施工方法	可使時間 (min)	標準乾燥時間 (hr)
プライマー	パラテックスプライマー液	パラテックス原液 0.005 水 0.095	0.10	  	—	0.5~3
	プライマーAP液	AP原液 0.033 水 0.067	0.10	  	—	0.5~5
	パラテックスEP-プライマー-X液	主剤 0.075 硬化剤 0.075	0.15	  	60~90	16~24
防水	A A 材	パラテックス原液 1.00 A混和材 0.67	1.67	  	90	12~48
	B B 材	パラテックス原液 1.20 B混和材 2.00	3.20	  	90	12~48
	C パラメッシュ貼り材	パラテックス原液 0.40 水 0.04以下	0.40~0.44	  	—	6~24
	A 材	パラテックス原液 1.00 A混和材 0.67	1.67	  	90	12~48
	VRメッシュ貼り材	パラテックス原液 0.70 水 0.07	0.77	  	—	6~24
	Q ₁ 材 各 層	パラテックス原液 0.40 Q ₁ 混和材 0.44 水 0.06以下	0.84~0.90	  	90	6~48
	D D 材	パラテックス原液 0.72 水 0.08以下	0.72~0.80	  	—	6~24
	Q ₁ 材	パラテックス原液 0.60 Q ₁ 混和材 0.67	1.27	  	90	6~36
	Q ₂ 材	パラテックスQ ₂ 原液 0.45 Q ₂ 混和材 0.50	0.95	  	90	6~24
	Q ₂ 材	パラテックスQ ₂ 原液 0.45 Q ₂ 混和材 0.50	0.95	  	90	6~24
保護	パラコート材	水 0.33~0.375 パラコート 1.50	1.83~1.875	  	90	12~36
	カラーコート材 1層目	カラーコート 0.70 水 0.035以下	0.70~0.735	  	—	4~12
	2層目	カラーコート 0.50 水 0.025以下	0.50~0.525	  	—	4~12
	カラーコートS材 1層目	カラーコートS 0.70 水 0.035以下	0.70~0.735	  	—	4~12
	2層目	カラーコートS 0.50 水 0.025以下	0.50~0.525	  	—	4~12
	トップコートAU材	トップコートAU 0.25	0.25	  	—	4~12
	トップコートV材 各 層	主剤 0.136 硬化剤 0.014	0.15	  	—	3~12
	ヒートバリアトップ 各 層	主剤 0.13 硬化剤 0.02	0.15	  	—	3~24
	パラコートEX材	主剤 (S-1) 0.21以上 硬化剤 (S-2) 0.21以上 骨材 (S-3) 1.06以上	1.50以上	  	40~90	24~48
	パラコートEM材	主剤 0.15 硬化剤 0.15 粉体 0.70	1.00	  	40~80	24~48
耐食	パラテックスEP-GSS材 各 層	主剤 0.167 硬化剤 0.033	0.20	  	40 (20℃, 1kg) 一般型	12~48
	パラテックスEP-パテ材 各 層	主剤 0.467 硬化剤 0.233	0.70	  	50 (20℃, 1kg) 一般型	15~48
	パラテックスEP-800材 各 層	主剤 0.16 硬化剤 0.04	0.20	  	70 (20℃, 1kg) 一般型	15~48
	パラテックスEP-GSX材 各 層	主剤 0.24 硬化剤 0.06	0.30	  	60 (20℃, 1kg) 一般型	12~24
	パラテックスEP-GSX材 各 層	主剤 0.24 硬化剤 0.06	0.30	  	60 (20℃, 1kg) 一般型	12~24

材 料	容 量 (kg)	用 途	1缶 (袋) 当り塗工面積 (概数) (m ²)
パラテックス原液	18	パラテックスプライマー液	3600.0
		A 材	18.0
		B 材	15.0
		パラメッシュ貼り材	45.0
		VRメッシュ貼り材	25.7
		D 材	25.0
パラテックスQ ₂ 原液	18	Q ₁ 材 Q	30.0
		C-VR	22.5
A 混和材	12	Q ₂ 材	40.0
B 混和材	15	A 材	18.0
Q ₁ 混和材	20	B 材	7.5
		Q ₁ 材 Q	30.0
Q ₂ 混和材	20	C-VR	22.5
パラメッシュ	100m巻	Q ₂ 材	40.0
VRメッシュ104	50m巻	パラメッシュ貼り	100.0 (1本当り)
パラコート	22.5	VRメッシュ貼り	50.0 (1本当り)
カラーコート	20	パラコート材	15.0
		A-2, C-2	16.6
カラーコートS	20	A-4, C-4	28.5
トップコートAU	16	カラーコートS材	16.6
トップコートV	主剤15 硬化剤1.5	トップコートAU材	64.0
ヒートバリアトップ	主剤13 硬化剤2	トップコートV材	55
パラコートEX	主 剤 (S-1) 5	ヒートバリアトップ材	50
	硬化剤 (S-2) 5		
	骨 材 (S-3) 25		
パラコートEM	主 剤 3	パラコートEX材	23.3 (1セット当り) 以下
	硬化剤 3		
	粉 体 14		
パラテックスEP-GSS	主 剤 15	パラコートEM材	20.0 (1セット当り)
	硬化剤 3		
パラテックスEP-パテ	主 剤 20	パラテックスEP-GSS材	B-4A, GS-A 45.0 (1セット当り)
	硬化剤 10		
パラテックスEP-800	主 剤 16	パラテックスEP-パテ材	42.8 (1セット当り)
	硬化剤 4		
パラテックスEP-GSX	主 剤 12	パラテックスEP-800材	50.0 (1セット当り)
	硬化剤 3		
プライマーAP	主 剤 4	パラテックスEP-GSX材	B-6C, GSX-C 16.7 (1セット当り)
	硬化剤 4		
パラテックスEP-プライマー-X	主 剤 4	B-6D, GSX-D 12.5 (1セット当り)	480.0
	硬化剤 4		
パラテックスEP-プライマー-X	主 剤 4	プライマーAP液	480.0
	硬化剤 4		
パラテックスEP-プライマー-X	主 剤 4	パラテックスEP-プライマー-X液	53.3 (1セット当り)
	硬化剤 4		

(注) 配合は、小数点第3位または第4位を四捨五入した概略の単位面積当りの塗工量です。
上記の可使時間・標準乾燥時間は現場状況(外部、内部、湿度、温度差)により左右されます。
冬型エポキシ材の可使時間は製品性状報告書をご参照ください。





⚠ 注意事項

＜施工環境＞

- 気温5℃以上で施工してください。
- 降雨、降雪、強風が予想される場合には、施工を避けてください。
- 夏季の屋外などの場合、必要に応じて作業時刻をずらす等のご配慮をお願いします。
- ビット等の閉所は、酸欠防止のために送風換気を行ってください。
- 湿度の高い施工箇所の場合は、送風機や除湿機を使用して、湿度を下げて施工してください。

＜下地＞

- 下地はコンクリート金鍍仕上げ程度としてください。
- 入り隅は通りよく直角とし、出隅は通りよく面取りとしてください。
- 下地表面は浮き水（結露水などの表面水）がなく、背面からの水のみしみ出し（湧水）がない状態としてください。外部からの漏水が発生している場合は止水材（とめたらう等）を用いて処理してください。
- エポキシ樹脂積層工法の場合は、中間層（パラコートEX等）は十分に乾燥させてから、エポキシ樹脂を塗布してください。
- 下地の付着物、コンクリートのレイタンス、エフロレッセンス等の脆弱層は、防水層の接着不良の原因となりますので、サンダー、ケレン、ポリッシャー等で十分に取り除いてください。
- 経年劣化したコンクリート、モルタル、その他通常と異なる下地の場合は、パラベースNEO等の下地調整材や特殊プライマーによる対応もありますので、弊社にご相談ください。
- 清掃は入念に行ってください。
- コンクリートの欠損部、突起部、目違い等は、サンダー、ケレン、ポリマーセメントモルタル充填等、適切な処理を行ってください。
- 鉄部等の役物は、防錆処理を確認のうえ、防水材を塗布してください。
- 下地の巣穴は防水層のピンホールやふくれの原因となるため、パラベースNEO等の下地調整材等で処理してください。

＜材料の施工＞

- 材料の練り混ぜは、所定の配合比率を守り、電動攪拌機を使用して均一になるまで十分に行ってください。練り混ぜ量は、可使時間内に使い切る量としてください。
- 塗布量はカタログに従い、規定量を使用してください。
- 次工程に入る前に、前工程の乾燥・造膜を確認してください。
- 鍍塗りの際には、シゴキ塗りをすると所定の塗布量がつきにくくなりますので、注意してください。
- 施工仕上りは、施工器具や作業者により若干の差異がありますがご了承ください。
- 防水層には、基本的に保護層が必要になります。
- 保護層施工時には、防水層を傷つけないようにしてください。
- 防水層にふくれが出る恐れがある場合は、回数を分けて塗布する等の対応をお願いします。
- ピンホールがある場合は、タッチアップ補修を行ってください。
- ビット等の閉所施工の場合、塗布作業後は結露を防止し、乾燥造膜を促すために、送風機等を使用して槽内換気を行ってください。

⚠ 注意事項

＜施工後、メンテナンス＞

- 防水層は柔軟性があるため、上に重量物を落下させたり鋭利なもので突いたりしないでください。清掃は、柔らかいブラシ等をご使用ください。
- ドレン等は定期的に清掃し、詰まりのないようにしてください。
- エポキシ樹脂仕上げ工法の水槽の場合、通水（水張り）までの硬化養生は、原則として7日以上（20℃相当）行ってください。
- ポリマーセメント系仕上げ工法の水槽の場合、必要に応じて（水槽の種類により）施工後に水張り（2～3週間を目安）によりアク抜きを行い、排水、槽内洗浄後に稼動に供してください。
- エポキシ樹脂積層工法（水道用水槽や養魚用水槽等）の場合、硬化養生後に水張り（1～2週間を目安）を行い、排水、槽内洗浄後に稼動に供してください。
- 排水槽等は定期的に洗浄を行い、塗装面に汚泥、油脂分等の継続的な付着のないようにしてください。

＜保管＞

- 風雨や直射日光をさけ、凍結しない場所に密封状態で保管してください。粉体材料は、水のかからない場所に保管してください。補強クロス等は、変形させないように保管してください。
- 一部の材料（エポキシ材等）は消防法に定める危険物に該当します。保管、貯蔵、運搬や取扱いに関しては、法令を順守してください。
- すべての材料は、子供の手の届かない場所に保管してください。

＜取扱＞

- 容器から取り出す時は、こぼれないようにしてください。漏出した場合は、乾燥砂、土、おがくず、ウエス等で処理してください。
- 取扱中は皮膚に触れないようにし、必要に応じて、防塵マスク、保護眼鏡、保護手袋などを着用してください。
- 指定された以外の材料と混合しないでください。
- 取扱後は、洗顔、手洗い、うがい等を十分に行ってください。
- 目に入った場合には、直ちに多量の流水で洗い、できるだけ早く医師の診察を受けてください。
- 皮膚に付着した場合には、直ちに多量の石鹸水で洗い落とし、痛みまたは外観に変化があるときは、医師の診察を受けてください。
- 飲み込んだ場合には、直ちに医師の診察を受けてください。
- 蒸気や臭いなどを吸い込んで気分が悪くなった場合は、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けてください。
- 呼吸器、皮膚の敏感な人、アレルギー体質の人は、一部の材料（エポキシ材等）を取り扱わないでください。

＜廃棄＞

- 使用済みの容器、材料の付着した手袋、ウエス等は、専門の廃棄物処理業者に委託して処理してください。
- 容器は中身を使い切ってから、専門の廃棄物処理業者に出してください。
- 本材料を廃棄する場合は、専門の廃棄物処理業者に委託して処理してください。

詳細は安全データシート（SDS）をご参照ください。



PARATEX

環境を守り、信頼に応える

大関化学工業株式会社

<http://www.ozeki-chemical.co.jp>

本 社	神戸市東灘区住吉南町1丁目1-15	〒658-0041 (078) 841-1141
北海道支店	札幌市中央区南一条東5丁目7-10 北海道日伊文化会館本館3F	〒060-0051 (011) 222-4850
東北支店	仙台市太白区越路26-14 越路ハイツ1階	〒982-0842 (022) 221-7142
東京支店	東京都港区東麻布1丁目9-15 東麻布一丁目ビル7F	〒106-0044 (03) 3582-7371
名古屋支店	名古屋市東区葵3丁目15-31 住友生命千種第3ビル2F	〒461-0004 (052) 937-8728
関西支店	神戸市東灘区住吉南町1丁目1-15	〒658-0041 (078) 811-1147
中四国営業所	広島市安佐南区緑井2丁目13-20 Green Beret 一風館201	〒731-0103 (082) 830-5621
九州支店	福岡市中央区平尾3丁目22-3 平丘ビル1F	〒810-0014 (092) 524-1360
大関化学研究所	神戸市東灘区住吉南町1丁目1-15	〒658-0041 (078) 822-0058
大關洋行(上海)有限公司	上海市徐匯区漕宝路80号上海光大会展中心D座1701室	〒200235 +86-21-6432-9600

製品及び施工についての技術的なご質問は、下記にでも承ります。

☎0120-417786

受付時間 平日9:00～12:00 13:00～17:00
(休日:土曜、日曜、祝日及び夏季、年末年始)

このカタログは環境に優しい大豆インキ・再生紙を使用しています。



2013年12月版